地区広報
芸術の森

題字　平澤　博

第19号
平成23年３月30日
発行　地区広報・芸術の森編集委員会
印刷　(株)辻　孔　版　社

楽しみの多いまちづくりに努めましょう

芸術の森地区町内会連合会　会長　**関　口　　明**

昨年は、地区の方々によるまちづくりセンターの自主運営の初年度でもあり、皆様には数多くのご支援を頂きまして心より厚くお礼申し上げます。

さて、懸案事項の一つでありました芸術の森地区町内会連合会と同まちづくり推進会議との一体化について、2月26日にそれぞれ臨時総会が開催され、両組織の3月31日での解散と4月1日からの「芸術の森地区連合会」の設立が承認されました。

また、併せて新組織の会則についても審議され了承されましたので、今まで同様皆様のご協力のほど宜しくお願い致します。

ここでは、当地域で行なっている事業や工事の中より２題を紹介したいと思います。

●真駒内川上流でもサクラマスやサケの遡上を見ることができるのでは

真駒内川の河川改修工事も８年目を迎えます。7年目の平成22年度は、石山東町内会と常盤団地町内会を結ぶ人道橋まで改修が進み、最終の常盤1号橋まであと400mとなりました。

昨年の初冬は、最も難工事と思われた人道橋下流の3段の滝の取り壊し工事中に、1段までサクラマスとサケが遡上したのを、常盤団地町内会の細川勝彦さんが確認していますし工事関係者も確認しております。1段から2段にかけては落差がありすぎて遡上できなかったそうです。

平成23年度は、人道橋から上流の常盤1号橋に向けて工事が進みますが、人道橋のすぐ上流にも落差工があり取り壊しが必要ですが、それが終わると常盤小学校前の常盤新橋上流までは落差工がないので、サクラマスやサケが遡上できるのではと思います。

常盤新橋やボザール橋上から遡上が見られると楽しいですね。

●「シーニックバイウエイ」って？

◆シーニックバイウエイ北海道は、“みち”をきっかけに地域住民と行政とが連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを提案しています。このことを目的として平成17年度から本格的にスタートしました。

平成22年度集計で、支笏洞爺ニセコルートなど9ルートが指定され、札幌南など3ルートが候補ルートとなっています。

◆札幌南シーニックバイウエイでは、ルート指定を目指して平成19年検討協議会（34団体参加）を設け、翌20年度に代表者会議を設立しルートの指定を目指しました。

本事業の特徴

①開発局の事業で、②予算はつかない、③今までの指定ルートは全て観光地など風光明媚なところ、④札幌南のような都市型の申請は初めての試み。

平成22年に指定ルート申請、平成23年５月に指定ルート認定の予定です。

ルート名：「札幌シーニックバイウエイ藻岩山麓・定山渓ルート」で3月11日申請の予定です。

ルートのテーマ：「住んでよし、訪れてよし」の都市空間、都市と自然と人が醸し出す札幌の魅力。

現在、参加団体は36団体。芸術の森地区からは、札幌市立大学、札幌市芸術文化財団、芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会、札幌市保養センター駒岡、芸術の森地区町内会連合会、ＳＰＡＣ滝野管理センター（すずらん公園）、社団法人ふる里公苑（滝野霊園）の７団体が加入しています。

なお、本事業は南区の区民協議会のテーマにもなっています。平成23年５月指定ルート認定後は、各町内会へ資料をお届けする予定です。

地域福祉活動の輪を広めよう

22年度事業の総括と新年度へ向けて

芸術の森地区社会福祉協議会　会長　伊　藤　　正

地域の皆様方には、日頃から当地区社会福祉協議会の各事業の推進につきまして、格別のご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本年度も残すところ、1か月余りとなりましたが、主な事業を振返るとともに新年度へ向けての抱負を述べさていただきます。

1「福祉のまち推進センター運営委員会」

活動体の「福祉のまち推進センター運営委員会」は、2年目に入り、具体的な活動に向けて、3回「運営委員会」を開催し、各町内会の活動状況や意見交換等を行い、また、見守り活動の一環として、区社協作成の「安心・安全カード」の利用を各町内会（福祉推進委員会、町内会福祉部）に募り、活動の一歩を踏み出しました。

来年度も、運営委員会の充実を図るため、円滑な事業の推進に努めてまいります。

2　事業推進に伴う民生児童委員、主任児童委員等との連携

地域での見守り、呼びかけなど具体的な体制等（高齢者マップの作成検討）の協力体制の整備については、個人情報などいろいろな課題はありますが、地区民生児童委員協議会との意見交換など連携を保ちながら、来年度以降、具体的な活動計画の検討を図ります。

3　福祉施設見学会、事業活動

福祉バス見学会（介護老人福祉施設、小樽望海荘）、講演会、（方波見　康雄医師、「生老病死と地域医療」）、各専門部の「もりの仲間の子育てサロン」「もりの仲間のさわやかクラブ（ハツラツ介護予防）」「もりの仲間の交流会」など特色ある活動として定着化しており、今後、内容の充実と町内会等の協力体制の推進を図ります。

4　23年度に向けて

当地区社協の事業方針は、札幌市の行動計画に掲げる「お互いに支えあうやさしい街づくりの実現に向けて」をめざして、福祉関係施設、行政機関、連合町内会ほか他社協関係団体との協力体制との連携を図り、事業を推進し、地域の福祉向上のため、取組むことが必要と思われます。

今後、高齢者が急増する現状を踏まえ、特に、見守り活動の体制は、町内会毎（福祉推進委員会、福祉部等）の組織化を優先に、民生委員、福祉推進委員や福祉部など相互に連携を図りながら一丸となった推進が重要と考えられます。

また、来年度の事業計画の策定にあたり、「安心・安全なまちづくり」を構築するため、事業を見直し、より良い事業の推進を図るため、ご助言とご協力をお願いいたします。

22年度の活動報告及び23年度の抱負

芸術の森地区青少年育成委員会　会長　前　口　敦　司

早春の候、知己の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

22年度もあとわずかとなりました。

本年度も地域の皆様にはいろいろとご協力頂き厚く御礼申し上げます。

本年度は委員任期最後の年ということで、とても充実した1年となりました。アイネットワーク推進委員会共催による教育フォーラム（10月）、南区少年少女親善スポーツ大会（11月、石山東小南区大会優勝！）、交流もちつき大会（12月）、小学生スキー教室（1月）、その他地域のお手伝いとして、森の仲間の三世代交流会（9月）、芸術の森音楽祭（11月）、南区成人式（1月）、祭事のパトロール（随時）等々、委員全員でやり抜いた1年間でした。また、3年の任期を終え退任される委員さん、本当にお疲れさまでした。

23年度は、新たな事業を行おうと調査・打ち合わせが終わりました。23年度も委員全員が一致団結して活動を進めて行きます。各事業の際には、大勢の子供さんの参加をお待ちしています。また、地域や保護者の方々の一層のご理解とご協力宜しくお願いします。

子供は私たちの希望です。その希望を地域の皆さんで育んで行きましょう。

23年度もガンバリます。

平成22年度芸術の森地区「交通安全運動」活動報告　交通安全部

交通安全運動は4月6日に『春の交通安全市民総ぐるみ運動』として、全国で一斉に開始されました。芸術の森地区も地域の各小学校前で『交通安全指導員』『交通安全母の会』の方々が横断時の注意指導を行い、新入生に交通安全グッズをプレゼントし、交通事故撲滅に向けて活動しました。

季別（春・夏・秋・冬）運動では、各小学校前で啓発運動を実施したことをはじめ、交通安全教室等、合計366人の多くの方々の参加を得、より身近かな運動としてご協力をいただきました。事故発生ゼロに向け参考までに以下の表を掲載いたします。特に12月から1月の降雪初期に事故が多発しているのが特徴で、注意が必要です。

平成22年 芸術の森地区 交通事故 発生状況（23・1・1）

※傷者数は、種別計の数字を含む怪我した者の総数です。（記載の3分類以外の傷者数を含む）

月	発生数（件）	死者数（人）	傷者数（人）	種別計（人）	内容		
					歩行者	自転車	車両
1	4	0	6	4	0	0	4
2	0	0	0	0	0	0	0
3	1	0	1	1	0	1	0
4	1	0	1	1	0	0	1
5	1	0	1	1	0	0	1
6	0	0	0	0	0	0	0
7	1	0	1	1	0	0	1
8	1	0	1	1	0	0	1
9	4	0	10	4	0	1	3
10	0	0	0	3	0	0	3
11	1	0	1	1	0	0	1
12	7	1	7	7	1	0	6
累計	21	1	29	24	1	2	21
前年比	0	1	−2	3	1	2	0

平成23年度交通安全運動が始まります

芸術の森地区会館前広場で《交通事故撲滅運動市民街頭啓発》を行います。

日時▶平成23年5月中旬　セレモニーと街頭啓発（日時確定次第、別途お知らせ）
　　参加予定　70名～90名以上　雨天の場合（会館2階会場でセレモニーのみ）
主催▶芸術の森地区交通安全運動推進委員会
共催▶南警察署・札幌市・芸森町内会連合会・小中学校・各関係幼稚園・関係緒団体・各地区老人会・各交通関係団体　他

皆様お誘いあわせの上、ご参加ください。

地区内の不安情報 そして明日の幸せを願い　防犯防災部

★平成22年度に私達の身近に起きた主な不安情報は、7月頃夏場の石山東小学校構内での焚き火や建物進入、あるいは常盤地区などへの熊出没、暮には北広島・清田区を震源とする直下型地震、更に南老人福祉センター付近での路上盗撮が発生しました。今年に入り、常盤2条付近で不審女性による小・中学生に対する声かけ事案が複数回おきており、また昨年の夏は、猛暑の影響かドクターヘリによる急患の緊急輸送が3～4回続き、騒音問題も話題となりました。

★3月11日お昼過ぎから翌日以降に及ぶ「東北・関東大震災」は、M9.0（震度7+）を記録し大津波を起こした国内観測史上未曾有の巨大地震でした。札幌は震度3とされ、また津波の恐れもないものの、私達はつい先頃（北広島・清田区の）“直下型地震”を経験し、そしてこのたび“日本は地震列島”を再確認することになりました。

★突如襲う天災地変には「死なないこと」「怪我をしないこと」、これには先ず**「しっかり備えること」**が大事です。

防犯教室

南区防災訓練参加

子供の見守り

身近なところで何が起きているかを見聞きし、市発行の「防災は日ごろの備え、心構え」などを参考に、また防火・身近かな犯罪には**「110番」「119番」への通報**をお忘れなく。

芸術の森地区

雪あかりの祭典

各地域の企画・制作力に感動

今年で5回目を迎えた、芸術の森地区「雪あかりの祭典」は、
2月11日の保養センター駒岡の「こまおか冬まつり」を最後に華やかに終わりました。

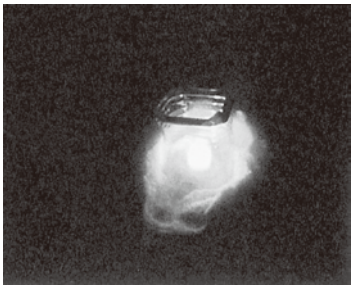
・**イルミネーション点灯**は、12月初旬から2月中旬まで、「ウェルカムロードイルミネーション事業」として昨年に引続き国道453号線沿いを、また、各地域の施設を飾り雰囲気を盛り上げました。

・**キャンドル作り講習会**は、12月９日に「まちづくりセンター」で行いました。当初20名程の予定でしたが、他地域からの参加もあり50名程集まりました。講師の見晴町内会の櫛田さん鶴田さんの説明を聞いた後、実際にキャンドル作りに挑戦しました。

「雪あかりの祭典」は、次の日程で行われました。
1月29日：芸術の森地区（常盤児童会館・札幌芸術の森・関口雄輝記念美術館・札幌市立大学）
2月3・4日：駒岡小学校（スノーフェスティバル）
2月5・6日：南老人福祉センター（雪あかりの祭典・スノーフェスタ）
2月11日：保養センター駒岡（こまおか冬まつり）

・**常盤児童会館**：1月19～28日までスノー&アイスキャンドル作りをしました。
　当日は、午後5時から館内のアイスキャンドル、屋外のアイス&スノーキャンドルに点灯しました。館内では温かい飲み物も提供されて楽しみました。

・**札幌芸術の森**：広い園内を利用して7項目のイベントを行いました。
①野外美術館で拾った木の実、枝、落ち葉を利用して雪で動物を作る「雪で森の仲間たちをつくろう」。②野外美術館の自然環境を生かした「すべり台」。③野外美術館内を巡り、クイズに答えながら謎解きし、宝物に辿り着く「トレジャーハンティング」。④北大鉄道研究会の鉄道模型の展示・デモ走行。⑤「ペントレィ」「鉛筆立て」などを製作した「リサイクルペーパークラフト」。⑥アートホール・ロビーでの「新春もちつき大会」。⑦美術館から工芸館までキャンドルを点灯した「キャンドルの小路／ナイトミュージアム」。
　祭典の開催時間内に訪れた人は各イベント毎の集計で延べ1840名余りになりました。



・**関口雄輝記念美術館**：16:30からアイスキャンドルの点灯式を行い、その後ホットココアを頂きながら、ジャズ演奏を楽しみました。

ジャズ＆灯り

キャンドル講習会の作品に点灯

・**札幌市立大学**：

祭典当日は、アリーナでは常盤中学校吹奏楽部演奏、ジャズスクール演奏、ライブペイント、そしてダンスサークル公演などを19時頃まで行いました。

グラウンドでは、雪上運動会を行い、たくさんのお子さんたちが楽しみました。また、正面玄関からグラウンドまでたくさんのアイス・スノーキャンドルを点灯して、幻想的な雰囲気を醸し出し、エントランスホール正面にイルミネーションを飾りつけて、来場される方をお迎えしました。豚汁・ココアのサービスコーナーにはたくさんの方が集まり、寒さに一息ついていました。

ゆきだるまんがやってきた

イルミネーション

・**駒岡小学校**：明るいうちは、自分たちで作った雪像滑り台で大いに遊び、夕食も自分たちでカレーとシチューを作り頂きました。これは「みずなら班」（1年生から6年生までの縦割りのグループ）活動で行いました。

夜は餅つき大会とスノーキャンドルの中で、夜遊び会を行い、この夜はみずなら班での宿泊学習でした。このイベントには、市の親善大使「ゆきだるマン」、保護者、新入予定のお子さんと保護者、地域の方々が大勢来てくれました。

・**南老人福祉センター**：（見晴町内会と共催）イルミネーションを約2万個福祉センター周辺と国道沿いに設置して12月6日から点灯しました。約2500個のアイス・スノーキャンドル作りを、それもいろいろとカラーリングを施した素晴らしいものでした。そのほか大小100個余りの雪像と、大きな滑り台も作りましたが、今年は雪が少なく苦労したそうです。

南老人福祉センター＆見晴町内会

スノーフェスタ

センター周辺の自然を活用した配置も素晴らしく、特に西側の眺望はキャンドル・イルミネーションのあかりと藤野から藻岩山の夜景がマッチングして素晴らしいものでした。豚汁、甘酒のサービスにも多くの方が列を作っていました。

・**保養センター駒岡**：冬の1日皆さんに楽しんでもらおうと始めた「冬まつり」も3回目を迎えました。屋外会場で親子雪だるまコンテストを行い、17組の方が参加されて楽しんでいました。

屋内会場では冬季間休んでいる「もりの仲間のこまおか朝市」、雪あかりコンサート、大じゃんけん大会が行われました。おしるこ、豚汁を各100人分を用意しましたが、早々と無くなりました。最後にアイスキャンドルに点灯して、楽しい1日を締めくくりました。

今年の「雪あかりの祭典」はいずれの日も好天に恵まれ、盛況のうちに終わることができました。

もりの仲間の子育てサロン

社会福祉協議会
子育て支援部

平成17年に開設してこの4月で7年目となります。親子の元気な笑い声が響き、人生の先輩達の優しいまなざしが子供達に注がれ、親子の交流の場として開設しています。0歳から就学前のお子様とパパ・ママ！是非おいで下さい。おもちゃ・本、充実しています。平成23年度の開催日は下記のとおりです。開催場所、芸術の森地区福祉のまち推進センター（南老人福祉センター内）石山緑地隣接。

開催日（毎月第1・第3水曜日）10:00～11:30
（暦により違う月もあります）

4月6・20／5月11・18
6月1・15／7月6・20
8月3・17／9月7・21
10月5・19／11月2・16
12月7・21／1月11・18
2月1・15／3月7・21

2月　雪の滑り台

12月　小5のお兄ちゃんと

12月　クリスマス会

福祉を支える人　石川（いしかわ） 靖子（やすこ）さん

プロフィール

1959年（昭和34年）宮城県気仙沼市出生。短期大学（家政科）卒業。道路公団勤務。昭和60年、結婚。一男一女授かる。2人とも社会人。4人家族。常盤4条2丁目在住。

常盤に住み着いて12年になります。4年前の4月、町内会の役員（女性部長）の任期終了し、時間と気持ちに少し余裕ができて、仕事以外の日に、何か新しい事が出来ないかと考えていました。女性部活動で知り合った縁（芸術の森地区連合町内会女性部長　三上良子さん）で、「もりの仲間の子育てサロン」をお手伝いする事になりました。出来るだけ欠かさず参加するようにしています。

2年前からは、そうした事がきっかけで、南区役所、健康・子ども課の「南区子育てボランティア」に登録しています。研修会や交流会、託児活動等にも時々参加しています。

子育てのお手伝いを通じ、自分自身が子どもの笑顔に癒されていること、必要な存在で居られることを嬉しく感じています。「もりの仲間の子育てサロン」は毎週の第1・第3水曜日の午前10時から11時30分まで、南老人福祉センターで開かれています。小学校入学する前の子育て中の親子。又は、家族（お爺ちゃんお婆ちゃん）であれば、誰でも参加することが出来ます。

ひなまつりのアレンジフラワーづくり

社会福祉協議会
高齢者支援部

今回、初の試みと致しまして2月28日（月）に65歳以上の方を対象に「ひなまつりのアレンジフラワー教室」を開催しました。スノードロップの篠原店長が、手直ししてくださると、見違えるほど素敵なアレンジフラワーへと変わりました。一足早いひなまつりを、楽しみました。本行事で今年度の予定は、すべて終了いたしましたが、これらは一部、札幌市共同募金会からの助成金を受けて実施しているもので、今年度も有効に使わせていただきました。来年度は、「認知症予防」に重点を置き活動する予定です。また、皆様の御参加をお待ちしています。

石山東小学校　東っ子クラブ

《ウインナー作りって楽しい！》

放課後の子供の居場所作りとして、学校・家庭・地域が一体となってすすめている「東っ子クラブ」ですが、去る12月22日には、芸術の森地区まちづくり推進会議「日本ハム北海道販売（株）」のご協力の下、日ハム講師のご指導で、ウインナー作りを体験しました。味の付いたひき肉を羊の腸に入れて形を整え、茹で上げて作り上げるのです。クラブのお友達は、初めは恐る恐るでしたが、道具を上手に使えるようになると、作るのが楽しくなりました。次々と作り上げ、大きなお皿がいっぱいになりました。とても美味しく皆ニコニコ顔でした。講師の方のお話もとっても楽しく、時間は、あっという間に過ぎてしまいました。ボランティア・地域の方も加え総勢52名の参加でした。

3学期は、1月26日、2月23日、3月2日・16日と開催され、子供たちは楽しく有意義な時間を過ごしました。

開業医が語る地域医療

「老いに寄り添う 病死と向き合う」 方波見康雄先生のお話

社会福祉協議会　広報部

私が開業医になってから51年（1960年）。父の代を入れると90年になる臨床医です。現在も息子と一緒に治療を続けています。

51年、生まれ故郷に住んでいますので、私が奈井江町に戻ったとき30代の人も51年たちますと80を超えていますね。私より10歳年上の人は90歳になっています。

今、認知症を患っている方は、子供の頃からの知り合いの方が多いです。いきなり出来上がった認知症の方を診るのではなく、地域で商店を経営されたり、会社に勤められたり、学校の先生をされたなど、きちんとお仕事をされてお年を取られて行くのです。そうゆう方で、認知症になられて家族の方は戸惑うのです（万歳され手を上げてしまう）。認知症は、誰でも罹る病気だと理解してもらいたい。

私が子供の頃から知っている、ある「お蕎麦屋」を経営されているお婆ちゃん。私が奈井江に戻ってきたとき、私よりかなり年上のお婆ちゃんでした。そこのお蕎麦が美味しいのでよく食べに行ったり、出前を取ったりしていました。そこのご主人という方は、ぷっくり太った赤ら顔でお酒が大好きな方で、大酒のみでした。その方は脳卒中で突然倒れられ、私は往診で最後まで診させていただきました。

その両親に息子さんがおられました。その方は、私より２つ年上で海軍に行って戦死をされています。もう一人の息子さんも亡くされている。三男は学校の先生をされ、定年になってから間もなく脳卒中で亡くなられた（お父さんの血を引いたのか）。その後、お婆ちゃんは一人になられた。非常にしっかりされた方でした。だんだん手足が不自由になって最後は、特別養護老人ホームに入ることになった。

奈井江町には、全国でも珍しい仕組みがあって、町立病院、老人保健施設、療養型病床に入っても、開業医に罹りつけの患者さんを最後まで診ることの出来る制度があります。

それからは、お婆ちゃんとの「涙の物語」が始まりました。

私が老人ホームに回診に行きますと、私の顔を覚えていて、「方波見先生、いまやっと子供をおんぶから下ろした。腰も痛いし肩も凝るし疲れた」と言うのですね。事実は違うのです。死んだお子さんのことが忘れられないのです。

認知症になっても頭によみがえってくる。思い出の中で母親を続けている。その事情を知った者でないと分からない。そのとき私は、お婆ちゃんの隣に私が座ってお話を聞いてあげる。そうすると、いろんな物語を語ってくれます。

開業医でありますから大病院の勤務医と違いまして、患者一人一人の人生の悩みとか生活の苦しみと向き合って話を聞くというところから仕事が始まります。「老いと寄り添う　病死と向き合う」大病院の先生を続けていたら、今の治療は出来なかったと思います。

（芸術の森地区社会福祉協議会、平成22年11月２０日、芸術森地区会館で開かれた講演会「まちのお医者さんが見つめる生老病死」から）

【歳末 火の用心 パトロール実施　芸術の森地区少年消防クラブ】

年の瀬も押し詰まった１２月１７日、好天の中、拍子木の音をリンと鳴り響かせ、少年消防クラブによる歳末パトロールが実施されました。石山東平和会館を起点に石山東1丁目と常盤児童会館の二方向に分かれ進むというものです。マイナス３度の寒い中、準指導者である中学生１名を含む常盤小学校・石山東小学校の児童（クラブ員）２２名、指導者４名、保護者等６名、消防団消防車によるパトロールでした。

少年消防クラブは「おおむね１０歳から１５歳までの少年少女により編成されるもので、少年期から防火・防災に関する知識を身に付け、地域や、家庭における火災予防を計ることを目的として構成されているもの」です。

現在、芸術の森地区の構成メンバーは２４人です。

パトロール風景

石山東平和会館前にて

ふれあい行事

「ふれあい」を基調に企画実践されている事業を単位町内会別に紹介するシリーズ第4回目は常盤団地町内会です。

常盤団地町内会

町内会は、本年創立35周年を迎えました。年を重ねるにつれて各種行事が増えて役員の負担が多くなるため、前年より町内会本来の目的である活動以外の行事はサークル活動として行うことにしました。

サークル活動は、それをお世話するリーダーの存在が重要になります。したがってお世話をするリーダーがいなくなるとサークルは自然消滅となります。

現在、町内会の主催行事と独立したサークルの行事を紹介します。

❶新年交礼会 …… 毎年1月上旬の日曜日に行っています。

❷夏休み期間中の防犯パトロール … 大人は役員が主体、子供の参加が多く「戸締り用心、火の用心」の掛け声と拍子木を敲く手に力が入ります。

❸七夕祭り …… 毎年８月７日に行っており、提灯行列の後、花火大会を合せて行います。

❹盆踊り …… 最初に子供盆踊りを行い、一休み後納涼盆踊りを行っています。

❺敬老会 …… ７５歳以上の方をご招待しています。

❻防災訓練 …… ＡＥＤの使い方、消火活動などを毎年行っています。

❼芸能祭・子供と大人の交流会 … ２行事を合同で行っています。

❽そり遊び・豚汁試食 … スノーモービルによるそり遊びを行っています。

◆サークル移行の行事

❶夏休み期間中のラジオ体操 … 毎年、七夕祭り、盆踊りと重なる日は除いています、子供の参加が多く大人の参加は少なめです。

❷新春マージャン大会 …… 新春マージャン大会は盛会です。

❸雪あかり …… イルミネーションに本年よりボランティアによるアイスキャンドルを加えました。

七夕祭り飾り付け

行灯行列

子供盆踊り

納涼盆踊り

芸能祭元気に踊る常盤の子供達

大人の出番フラダンス

早朝より元気でラジオ体操

雪あかり常盤団地出入り口

入所サービス
ショートステイ
みなさまの想いにおこたえいたします
通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリ

医療法人 愛全会
介護老人保健施設
アートヒルズ
〒005-0849 札幌市南区石山837-47

0120 FreeDial 0120-348-365
みんな しあわせ 365日

初心者スキー教室 開催

青少年育成委員会

1月15日(日)、藤野Fu'sスノーエリアにおいて、芸術の森地区青少年育成委員会が主催した「初心者スキー教室」を開催しました。

参加者は39名と昨年より多く、レベルに応じたグループに分かれ、スキー場の指導員の指導を受けて、徐々にうまくなりました。特に、ほとんど滑ることが出来ないグループの子供たちも、午後にはリフトに乗って中級コースも降りられるほどになりました。

また、昼食にはカレーライスも用意され、楽しい1日を過ごしました。来年も実施を計画しておりますので、多数の参加をお待ちしています。

交流もちつき大会

青少年育成委員会

昨年12月12日(日) 常盤児童会館で、交流もちつき大会を行いました。

子供たちは、お父さんお母さんに手伝ってもらいながら餅つきを体験し、美味しいお餅をお雑煮、お汁粉、黄な粉、納豆、おろし大根などお代わりをしながら美味しそうに食べていました。今年の参加者は204名でした。

来年も楽しい時間と美味しいお餅を食べにきてください。お待ちしております。

お手伝いしていただいた子供たち、地域の皆さんどうもありがとうございました。来年もまたよろしくお願いします。

第4回パークリング大会
外の寒さはなんのその

芸術の森東スポーツ振興会 会長　佐藤 優司

2月27日(日)、当振興会の冬の行事であるパークリング大会が、駒岡地区会館の室内ゲートボール場で行われました。

参加22チーム（3人混成チーム）で競技を行いました。リング内にボールが入るたびに大きな歓声が上がりました。暖かい豚汁と甘酒をいただいた後、決勝戦に入りました。

結果は　優　勝　見晴　Cチーム
　　準優勝　駒岡　宮口チーム
　　3　位　見晴　Bチーム　　でした。

今回はNHK札幌の取材があり、競技開始から終了まで、熱戦の様子が撮影されました。女性レポーターも途中から子供たちのチームに入り競技を体験しました。（放送3月12日午前10:05～10:30　NHK「この街きらり」の中で放送）

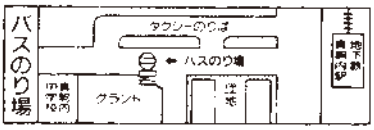
東北関東大震災の被災者義援金について

札幌市では、今回の地震や津波で被災した皆さんのために、義援金の取りまとめを行います。義援金は、日本赤十字社との協力の下、芸術の森地区まちづくりセンター窓口でも受け入れます（～平成23年9月30日）。受け入れた義援金は、日本赤十字社を通じて被災した皆さんの支援や災害復興に役立てられます。皆様方からの温かい心遣いをお待ちしております。

永久に生きる花と緑の明るい聖地
真駒内滝野霊園
札幌市許認可霊園

無料 見学・墓参バス運行中

時間　午前 10:00
　　午後 12:00
　　午後 2:00



お問合せ・お申込みは　真駒内滝野霊園事務所 ☎(011)592-1223(代表)

お知らせ

芸術の森地区連合会 総会

日時：平成２３年４月２３日（土）１５：００～
場所：芸術の森地区会館　２階会議室

雑がみの出し方ルールの変更について

環境衛生部長

日頃より当地区内の環境衛生事業についてご理解ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、札幌市では一昨年7月にごみ排出要領を変更し、雑がみなど資源ごみのリサイクルにも取り組んできましたが、その都度お知らせしているように「雑がみ」に含まれる新聞・雑誌・段ボールの割合が高く、選別に著しい支障を来たしております。

その為、選別作業にかかるコスト抑制と、さらなるリサイクル推進に向けて、平成23年４月から新聞・雑誌・段ボールを雑がみの日に出さず、取り扱いを変更して「集団資源回収」または「古紙回収拠点」に出すことになりました。

参考　広報さっぽろ：2月号（南区版）6頁 23年2月1日
　　チラシ・回覧：札幌市環境局　　23年２月

◎当芸術の森地区は、連合会を構成する各単位町内会はじめ、ＰＴＡなどの団体で集団資源回収を行っており、この度対象となる「新聞」「雑誌」「段ボール」は、これまでどおり（集団資源回収）となりますが、連合会未加入者の排出なども加え、出し方ルールの変更を再認識いただきますようお願いいたします。

なお、地区まちづくりセンターでは、この度のルール変更にかかわりなく事前に「古紙回収ボックス」を設置してあります。新聞・雑誌・段ボールなどたまって邪魔になるとか、回収日まで待てないものなどありましたら、お持ち込みください。土・日・祝祭日・１２月２９日～１月３日を除く平日９時から午後５時の間ご利用できます。

参考　チラシ回覧済：「古紙回収ボックス」設置　23年2月

芸術の森地区 シンボルマーク募集

芸術の森地区のシンボルマーク（イラスト）を募集しています。奮ってご応募ください。
募集期間：4月～6月
なお、選考に適った方には薄謝を差し上げます。

応募先▶ **芸術の森地区まちづくりセンター**
〒005-0850　札幌市南区石山東7丁目1-31
TEL 011-592-7009　FAX 011-592-1406
メール　geimori_machisen1@siren.ocn.ne.jp

表　彰

駒岡団地町内会が札幌市防災表彰を授与

1月14日（金）、札幌すみれホテルに於いて、駒岡団地町内会が地域における住民の協力により積極的な自主防災活動を行っている団体として札幌市から防災表彰状が授与されました。

編集後記

まちづくりセンターが自主運営に移行され、早１年が過ぎました。

そういえば、私達が地下鉄（の一駅）延長の陳情に力を入れたり、市立高専（→市立大学）が開かれてからでも20年ほど、更に第11回冬季オリンピックを前にした地下鉄（南北線）開通からは、今年で40年にもなります。正に「光陰矢の如し」、ボヤボヤしておられません。

明年度も充実した内容を心がけたいと思いますので倍旧のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

広報「芸術の森」編集委員会一同